

政策調整会議の概要

開催日 令和8年5月21日（木）

◎項目

- 1 東京事務所へのミッション等について
- 2 県の審議会等委員への女性の参画促進について

◎内容

1 東京事務所へのミッション等について【総合企画部】

○総合企画部副部長

本年度は、東京事務所が主体的にミッションテーマ案を作成し、それを基に本庁と東京事務所が協議してミッションテーマを設定。ミッションテーマは省庁分野と産業振興分野の2分野。省庁分野は、政府への政策提言活動及びフォローアップ、政府予算等に係る情報収集、各部局からの依頼への対応（随時）、ネットワークづくりの4項目。産業振興分野は、例年より目的や担当を明確にし、東京事務所からの具体的な提案も含んだものもあるので、本庁各部局もより一層の連携をお願いする。

国等の動向の情報収集は、例年同様、東京事務所で対応することとしており、現時点で112項目。東京事務所では、各省庁と連携を図り迅速で正確な情報収集をしてもらっている。本庁の各部局の総括副部長においては、ミッションテーマを参考に、東京事務所との間で単なる情報共有だけでなく情報のキャッチボールを行い、実のある取組となるよう努めてもらいたい。国の動きに連動してミッションテーマの追加・変更も可能なので、引き続き、東京事務所を活用してほしい。

2 県の審議会等委員への女性の参画促進について【子ども・福祉政策部】

○子ども・福祉政策部副部長

県の審議会等委員への女性の参画は、令和7年5月1日時点で35.1%、全国順位では36位と低い状況。従来の慣例にとらわれず、柔軟な運用で女性委員登用を進める必要がある。知事からも、「具体的には、充て職の幅を広げ、副部長級や課長級の女性を委員にするなど、設置要綱・任命ルールを見直す工夫をしてもらいたい。」と指示があったところ。こうしたことを踏まえ、2点見直しを行う予定。

1点目は、女性委員登用目標50%達成に向けた取組の徹底。そのために、毎年度4月に、「審議会等に占める女性委員の割合順位表」を作成し、男女共同参画推進本部会に報告したうえ、会議後、ホームページで公表。充て職による委員選任により女性委員の登用が進まない場合、関係団体と協議のうえ、女性委員を幅広く選任できるよう規則や要綱等の改正を進めてもらいたい。また、推薦団体等に女性委員を推薦依頼するに当たっては、趣旨を十分説明していただきたい。委員の改選等により女性委員の割合が40%に満たない場合は、当該任用の3か月前までの男女共同参画推進本部長への事前協議を徹底するようお願いする。

2点目は、審査会等の委員の男女構成に係る適用除外の取扱いの厳格化。高知県

男女共同参画社会づくり条例施行規則第2条に明記されている当該適用除外の規定について、これまでは柔軟な運用を行ってきたが、女性委員登用の趣旨を踏まえ、より厳格な運用に改める。適用除外の要件に該当する場合、委員改選の3か月前までに男女共同参画推進本部長への事前協議を実施するようお願いする。

3 その他

○観光振興スポーツ部副部長

本県出身のジョン万次郎をモデルとした大河ドラマ「ジョン万」が令和10年から放送されることが決定した。今年4月から知事とも推進体制を協議し、大河ドラマを活かした観光振興策の検討を進めている。また、知事からは、観光振興だけでなく、例えば地産外商や移住促進、特に人口減少の対策につながる取組を全庁一丸となって考えてもらいたいとの指示があった。そこで、庁内ワーキングを立ち上げることで関係者の出席をお願いしたい。第一回目の庁内ワーキングは6月18日に開催予定。メンバーは、知事部局の各部局副部長級及び教育次長。また、各部局には、「ジョン万」に向けて取り組んでいくべきことについて調査をかける予定。調査で取りまとめた内容は、大河ドラマを生かした観光振興基本計画にも可能な限り盛り込んでいきたいと考えているので、ご協力をお願いする。

副知事

市町村の首長と話をする、会議をするといった場面で、担当課長のみが対応している場合があると聞く。首長の対応は、部長か最低でも副部長が対応するようお願いする。首長は選挙で選ばれている住民の代表であることを肝に銘じてもらいたい。

今年のサマーレビューでは、歳入確保策について議論ができるよう準備を進めてもらいたい。